

科目設定の理由

●基礎分野

教育内容	科目	学則		科目設定の理由
		単位	時間数	
科学的思考の基盤	論理学	1	30	看護を科学的根拠に基づき、実践するために論理的思考と表現力を養う。
	倫理と哲学	1	30	人間の存在価値や尊厳を考える能力を養う。
	情報科学	1	30	医療・看護に活用するための情報リテラシーやコンピューターリテラシーを理解し実践する能力を養う。
人間と生活社会の理解	心理学	1	30	人間の心と行動について学び、自己と他者を理解する能力を養う。
	人間関係論	2	45	看護者として人間関係を築くための能力を養う。
	社会学・家族論	2	30	多様な社会環境を学び、社会的存在としての人間とその家族を理解する能力を養う。
	教育学	1	30	人間形成における教育的意義を理解し、自己開発への動機付けとする。
	グローバルコミュニケーションⅠ	1	15	英語を通して、異文化に対する関心を深め、国際理解の基礎を養う。
	グローバルコミュニケーションⅡ	1	15	看護実践に必要な英語能力を養う。
	グローバルコミュニケーションⅢ	1	15	中国語を通して、異文化に対する関心を深め、国際理解の基礎を養う。
	地域文化	1	15	医療の捉え方に関わる地域の文化性を理解する。
	スポーツ科学	1	15	運動の視点から健康を考える能力を養う。
	小計	14	300	

●専門基礎分野

教育内容	科目	学則		科目設定の理由
		単位	時間数	
人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	1	30	健康な人間の身体の構造を、生活行動と関連付けて理解し、看護を实践する上で基盤となる知識を養う
	人体の構造と機能Ⅱ	1	30	健康な人間の身体の構造を、生活行動と関連付けて理解し、看護を实践する上で基盤となる知識を養う
	生理学Ⅰ	1	30	健康な人間の身体の機能を理解し、看護を实践する上で基盤となる知識を養う。
	生理学Ⅱ	1	30	健康な人間の身体の機能を理解し、看護を实践する上で基盤となる知識を養う。
	生化学	1	15	生体内でのエネルギー獲得の仕組み、生体の恒常性の維持と代謝について理解し、健康を支援する上で基盤となる知識を養う。
疾病の成り立ちと回復の促進	病理学	1	15	病気になった原因や病気の成り立ち、発生機序を理解し、回復を促進するための看護に必要な知識を養う。
	微生物学	1	20	微生物の人体に及ぼす影響を学び、患者の安全や感染予防を行うための基礎的な知識を養う。

教育内容	科目	学則		科目設定の理由
		単位	時間数	
疾病の成り立ちと回復の促進	栄養学	1	15	栄養および食事療法の意義を理解し、看護師として対象に必要な食事指導ができる基礎的能力を養う。
	臨床薬理学 I	1	15	医薬品の作用機序、生体内動態、有効性、安全性や投与方法など、薬理学的知識を学び、看護に活用する能力を養う。
	臨床薬理学 II	1	30	各系統に作用する薬物の基礎的知識を学び、看護に活用する能力を養う。
	病態と治療 I	1	20	・呼吸器系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・循環器系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。
	呼吸器系	(1)	(10)	
	循環器系	(1)	(10)	
	病態と治療 II	1	30	・消化器系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・内分泌・代謝・膠原病・アレルギー・血液系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。
	消化器系	(1)	(10)	
	内分泌・代謝系 膠原病・アレルギー系 血液系	(1)	(20)	
	病態と治療 III	1	20	・運動器系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・脳神経系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。
	運動器系	(1)	(8)	
	脳・神経系	(1)	(12)	
	病態と治療 IV	1	30	・外科的治療を要する疾患・症状・治療の実際を理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・外科的治療を支える麻酔学について理解し看護を実践するために必要な知識を養う。 ・女性生殖器系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・腎泌尿器系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。
	外科的療法	(1)	(12)	
	麻酔学	(1)	(6)	
	女性生殖器系	(1)	(6)	
	腎泌尿器系	(1)	(6)	
	病態と治療 V	1	20	・歯科・口腔系の病態・治療・検査について理解し看護を実践するために必要な知識を養う。 ・皮膚系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・眼系の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・耳鼻咽喉の病態・治療・検査について理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。
	歯科・口腔	(1)	(6)	
	皮膚	(1)	(6)	
	眼	(1)	(4)	
	耳鼻咽喉	(1)	(4)	
	治療論 I	1	20	・回復過程を促進するための治療に伴う検査を理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・回復過程を促進するための放射線療法を理解し、看護を実践するために必要な知識を養う。 ・回復過程を促進するための治療に必要な医療機器を理解し安全に操作する能力を養う。
臨床検査	(1)	(10)		
放射線療法	(1)	(6)		
医療機器	(1)	(4)		

教育内容	科目	学則		科目設定の理由
		単位	時間数	
疾病の成り立ちと回復の促進	治療論Ⅱ	1	15	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション療法を理解し、リハビリテーション看護を実践するために必要な知識を養う。 ・リハビリテーション看護を実践するために必要な技術を習得する。
	リハビリテーションⅠ	(1)	(5)	
	リハビリテーションⅡ	(1)	(10)	
健康支援と社会保障制度	公衆衛生学	2	30	環境、個人衛生、疫学を学び、健康の保持増進・疾病の予防に向けて、組織的な保健活動を実践する能力を養う。
	社会福祉	2	30	<ul style="list-style-type: none"> ・人々が、生涯を通じて健康や障害の状態に応じて社会資源を活用できるように、必要な知識と基礎的な能力を養う ・医療福祉の役割とその実際について学び、看護に役立てる能力を養う。
	社会福祉	(2)	(26)	
	医療福祉	(2)	(4)	
	看護関係法令	1	15	看護関係の法令を理解し、国民の健康を守り、職責を正しく遂行するための能力を養う。
総合医療論	1	15	医療が果たす役割と課題を理解し、健康な生活を確保するために、看護が果たす役割を理解し支援する能力を養う。	
小計		23	475	

●専門分野の科目設定理由

教育内容	科目	学則		科目設定の理由
		単位	時間数	
基礎看護学	看護学概論	1	30	看護学の基盤となる主な概念を学び、対象と生活と場、看護専門職の役割・機能等を理解する能力を養う。
	共通基本技術Ⅰ ヘルスアセスメント	1	30	看護技術とは何かを学び、看護におけるヘルスアセスメントを理解し、実践する能力を養う。
	共通基本技術Ⅱ 感染予防・安全・安楽	1	30	感染予防・安全・安楽の基礎となる知識を学び、実践する能力を養う。
	生活援助技術Ⅰ 療養環境	1	20	対象の生活の状態に応じて、環境を整えるための知識を学び実践する能力を養う。
	生活援助技術Ⅱ 食事・栄養・排泄	1	45	対象に応じた食生活と栄養摂取、排泄の知識を学び、看護を実践する能力を養う。
	生活援助技術Ⅲ 活動・休息	1	20	対象の生活の状態に応じた活動と休息の知識を学び、看護を実践する能力を養う。
	生活援助技術Ⅳ 清潔	1	45	対象の生活の状態に応じた清潔・衣生活の知識を学び、看護を実践する能力を養う。
	臨床看護総論	1	30	対象を、生活者として人生を生活している人と理解し、変化する身体状態や心の動きをイメージしながら、臨床の場と看護を理解する能力を養う。
	診療援助技術	1	45	診療に伴う基本的な看護技術を習得し、対象の状態をアセスメントして実践する能力を養う。
	看護過程	1	30	看護過程の基になる考え方と理論を学び、看護過程を展開する能力を養う。
看護研究	1	15	看護研究の必要性と方法を理解し、研究的態度を養う。	

教育内容	科目	学則		科目設定の理由
		単位	時間数	
地域・在宅看護論	在宅看護概論	1	20	・暮らしを理解すると共に、暮らしが健康に与える影響を理解する能力を養う。 ・地域・在宅看護論の対象と看護の基盤となる概念を理解する能力を養う。
	地域と暮らし	1	15	人々の健康を考えるために、対象が暮らす地域や生活を理解する能力を養う。
	暮らしを支える看護Ⅰ	1	30	地域で暮らす人々の、健康の保持増進・疾病予防に関わる看護を理解する能力を養う。
	暮らしを支える看護Ⅱ	1	15	地域で暮らし続けることを支援するための能力を養う。
	在宅療養を支える技術Ⅰ	1	15	地域で生活する人々と、その家族の日常生活援助について理解し展開する能力を養う。
	在宅療養を支える技術Ⅱ	1	15	暮らしの場で行われる治療と看護を理解する能力を養う。
成人看護学	成人看護学概論	1	30	成人期にある人の特徴と発達課題、健康上のニーズを理解し、その人にとって最適な健康を維持・増進するための看護を実践する能力を養う。
	成人看護学方法論Ⅰ	1	15	成人保健の動向を学び、健康と生活を理解する能力を養う。
	成人看護学方法論Ⅱ	1	30	・成人の多様な健康状態や健康問題に対応する循環器看護を実践する能力を養う。 ・成人の多様な健康状態や健康問題に対応する呼吸器看護を実践する能力を養う。 ・成人の多様な健康状態や健康問題に対応する消化器看護を実践する能力を養う。
	循環器看護	(1)	(10)	
	呼吸器看護	(1)	(10)	
	消化器看護	(1)	(10)	・成人の多様な健康状態や健康問題に対応する内分泌・血液・アレルギー疾患、膠原病の看護を実践する能力を養う。 ・成人の多様な健康状態や健康問題に対応する脳神経看護を実践する能力を養う。 ・成人の多様な健康状態や健康問題に対応する泌尿器看護を実践する能力を養う。
	成人看護学方法論Ⅲ	1	30	
	内分泌・血液・膠原病看護	(1)	(12)	
	脳神経看護	(1)	(10)	
泌尿器看護	(1)	(8)	・成人の多様な健康状態や健康問題に対応する運動器の看護を実践する能力を養う。 ・成人の多様な健康状態や健康問題に対応する女性生殖器の看護を実践する能力を養う。	
成人看護学方法論Ⅳ	1	15		
運動器看護	(1)	(8)		
成人看護学	女性生殖器	(1)	(7)	・外科的治療を受ける成人の、多様な健康状態や健康問題に対応するための看護を実践する能力を養う。 ・がん治療を受ける人の、多様な健康状態や健康問題に対応するための看護を実践する能力を養う。 ・事例患者の演習を通して、手術を受ける患者の看護実践能力を養う。
	成人看護学方法論Ⅴ	1	30	
	外科的治療を受ける患者の看護	(1)	(14)	
	がん治療を受ける患者の看護	(1)	(6)	
	事例演習	(1)	(10)	

教育内容	科目	学則		科目設定の理由
		単位	時間数	
老年看護学	老年看護学概論	1	15	老いを生きる高齢者の老化や発達課題、高齢者を取り巻く課題を学び、高齢者がよりよく日常生活を送るための援助に必要な知識を養う。
	老年看護学方法論Ⅰ	1	15	加齢変化、病、障害を併せ持つ高齢者の心身を理解するための能力を養う。
	老年看護学方法論Ⅱ	1	15	高齢者に特有の身体的変化や生活リズムと生活機能との関連を理解し、看護するために必要な能力を養う。
	老年看護学方法論Ⅲ	1	30	高齢者の特徴をいかした看護過程の考え方を理解し、展開する能力を養う。
小児看護学	小児看護学概論	1	30	小児看護学の対象である子どもと家族への理解を深め、小児看護学の概念と役割を理解する能力を養う。
	小児看護学方法論Ⅰ	1	30	・子どもと家族の概況や倫理的視点から、小児看護の役割と課題を理解する能力を養う。 ・子どもの主な疾患を理解し、小児看護を実践するための能力を養う。
	小児保健	(1)	(16)	
	小児疾患	(1)	(14)	
	小児看護学方法論Ⅱ	1	30	子どもの主な疾患の看護の特徴および疾患をもつ小児の看護上の問題を把握し、健康レベルに応じた看護の展開方法を理解する能力を養う。
小児看護学方法論Ⅲ	1	15	事例を通して、子どもの看護を展開する臨床判断能力を養う。	
母性看護学	母性看護学概論	1	30	母性各期の特徴と発達課題の理解を深め、母性看護学の概念と役割を理解する能力を養う。
	母性看護学方法論Ⅰ	1	30	正常経過にある妊産褥婦と新生児の看護について理解する能力を養う。
	母性看護学方法論Ⅱ	1	30	・妊娠・分娩・新生児・産褥期の異常について理解し、看護を実践する能力を養う。 ・異常経過にある妊・産・褥婦と新生児の看護を実践する能力を養う。
	周産期の異常	(1)	(10)	
	周産期の看護	(1)	(20)	
母性看護学方法論Ⅲ	1	15	母性看護を展開する基本的な技術と臨床判断能力を養う。	
精神看護学	精神看護学概論	1	30	心の発達と健康の意義を学び、精神の健康保持増進のための看護を理解する能力を養う。
	精神看護学方法論Ⅰ	1	30	・精神科領域の歴史の変遷や法制度を学び、看護師が行う精神保健福祉活動を理解する能力を養う。 ・精神障害の病態と治療、主な検査について学び、精神看護を実践するために必要な知識を養う。
	精神保健福祉	(1)	(16)	
	精神疾患	(1)	(14)	
	精神看護学方法論Ⅱ	1	30	精神看護を実践するために必要な能力を養う。
精神看護学方法論Ⅲ	1	15	事例を通して、精神看護を展開する能力を養う。	

教育内容	科目	学則		科目設定の理由
		単位	時間数	
看護の統合と実践	看護の統合Ⅰ	1	30	<ul style="list-style-type: none"> ・看護をマネジメントするための基礎的能力を養う。 ・多職種連携の実際を学び、チーム医療に必要な能力を養う
	看護管理	(1)	(14)	
	多職種連携	(1)	(16)	
	看護の統合Ⅱ	1	30	安全な医療・看護の提供のために必要な知識と技術を習得するための能力を養う。
	看護の統合Ⅲ	1	30	緩和ケアに関する基本的な知識と考え方を学び、患者・家族の苦痛へアプローチし、Quality of Life の向上を目指すための能力を養う。
	災害看護と国際看護	1	20	グローバルな視点で、災害看護を実践する基礎的能力と、国際看護における活動内容を考察する能力を養う。
	臨床看護の実践	2	45	看護技術の総合的な評価を行い、臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
臨地実習	看護の基礎実習Ⅰ	1	45	対象と人間関係を築き、療養環境を観察し、「生活の場」として理解し、整える看護活動を実践する能力を養う。
	看護の基礎実習Ⅱ	3	135	対象の身体的な状態をフィジカルアセスメントするとともに、対象の思いを感じ取り、必要な生活援助を実践する能力を養う
	地域の実習	1	45	看護の対象である人々の暮らしを、地域がどのように継続的に支援しているのかを理解し、地域包括ケアを実践するための能力を養う。
	地域・在宅看護論実習	2	90	病気や障害をもっても、本人・家族が望むなら、地域で暮らし続けるための支援を理解し、実践する能力を養う。
	成人・老年看護学実習Ⅰ	2	90	健康障害を持つ対象の身体的苦痛や心理面を理解し、対象の状態に応じた基礎的な看護を実践するための能力を養う。
	成人・老年看護学実習Ⅱ	2	90	成人・老年期にある対象の発達課題と生活上のニーズを理解し、健康障害があっても、その人らしく自立・自律して暮らしていくことを支援する能力を養う。
	手術を受ける対象を支える実習	2	90	手術による生体侵襲により、日常生活行動がおびやかされた状態にある対象を理解し、回復を支援する能力を養う。
	障害のある対象を支える実習	2	90	重症心身障害者が、障害の程度にかかわらず、個々のもてる力や強みを発揮し、可能な限り自立した生活を営むことを支援する能力を養う。
	小児看護学実習	2	90	さまざまな健康状態にあり治療を受ける子どもの成長発達を支え、子どもを家族の中の存在として位置づけて、その子らしさが発揮できるように支援する能力を養う。
	母性看護学実習	2	90	妊娠・分娩・産褥期にある母性及び新生児の特徴を理解し、対象とその家族がより健やかに円滑に生活することを支援する能力を養う。
	精神看護学実習	2	90	精神に障害を持つ対象とその家族の理解を深めると共に、自己洞察力を養い、精神の健康を回復するための看護を理解する能力を養う。
	看護の統合と実践実習	3	135	既存の知識・技術・態度を統合し、臨床判断を用いて、看護を実践する能力を養う。
	小計		69	2225

